

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				2024年9月30日
		チェック項目	はい	いいえ／わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	●国基準の約2倍の広さを確保しているため、適切と考えている。 ●余計なものを置かないように工夫をしている。 ●死角が無く、子どもの状況を把握しやすい環境だと感じている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	●シフトの段階で適切に考えられている。 ●法令で定められている配置人数に加え、理学療法士や作業療法士など専門的職員も多く配置し、常に3人から5人体制で支援している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	●玄関を含め、バリアフリーにしている。 ●絵カード、キャラクター等が必要以上に多すぎる。 ●目につくところに気が散るものはおかないようにしている。	●子どもの注意集中のため、飾りつけなどはせず極力シンプルな内装にしていこう。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	●道具は整理整頓し、日々道具をアルコール消毒している。	●日々の清掃、消毒はもちろん、整理整頓を意識し、心地よく過ごせる環境作りを職員ひとりひとりが心がけていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	●個室を用意するのは難しい。 ●空いてる空間でクールダウンできるようにしている。	●個室の設置は難しいが必要に応じてパーティションなどを活用していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	●職員間で意見を出しやすい環境づくりをしている。 ●空いてる空間でクールダウンできるようにしている。 ●業務改善について、目標設定と振り返りまではできていない。	●適宜、ミーティングをして改善に努めている。 ●限られた時間の中でのミーティングになるが今後半年に1度など全体で目標設定と振り返りを行っていききたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	●保護者からのご意見、ご要望を反映し職員間で話し合い、改善に努めた。 ●改善したところは、公表の改善点にも記している。	●今後も保護者からの意向等を把握し、業務改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	●日々のミーティングの際に共有、改善点を図っている。 ●子どもの情報は共有できているが、日々の業務を効率化する改善はそれほど行っていない。	●日々の業務を効率化するための、ミーティングを設けていきます。 ●他事業所の職員とも積極的にコミュニケーションを図り、良い点や改善点をシェアし業務改善につなげていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	●第三者による部外評価は、3年に一度行っている。	●頻度は今のペースを継続していくが、中長期的な改善についても取り組んでいきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	●様々な研修を受講する機会がある。 ●より高い療育スキルをもつ指導員からの研修や実践指導を行っている。	●今後は年間計画を作成し、様々な研修を受講するなどすべての指導員が日々スキルアップできる仕組みを整えていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2	●ガイドラインの発達の5領域や子どもの発達段階に合わせ職員間で話し合い適切に作成されているが、公表はできていない。	●今年度中に公表できるようにしていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	●一人ひとりのこどもが現在どのようなことに困っているのか、現在支援すべきことは何なのかなど職員間で話し合い、支援計画を作成している。	●今後も保護者のニーズや子どもの課題を適切に分析し、満足感を得られる支援を継続して行っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	●実際に支援や指導に関わった職員や児童発達支援管理責任者で入念な話し合いのもと、それぞれの子どもの発達段階に合わせた支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	●支援開始前、支援終了後に必ず職員間で支援計画を確認、共有し計画に沿って毎日支援を行っている。 ●それぞれの子どもの発達段階に合わせ、職員全員が役割分担など入念な打ち合わせをしている。	●今後も来所児童全員の前回活動時の様子や配慮事項、プログラムの共有、役割分担など入念に打ち合わせを必ず行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		●現在インフォーマルなアセスメントツールの使用はないが今後検討し取り入れていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA 調布	公表日		2024年9月30日	
		チェック項目	はい	いいえ／わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	●ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容の本人支援、家族支援などを踏まえそれぞれの子どもに適切な支援の優先順位をつけて具体的に支援計画を設定している。	●今後もガイドラインの項目をよく確認し、適切で具体的な短期目標、長期目標など計画的に設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	●個別支援計画目標に基づきリードの職員がその日のメニューを作成している。 ●リードの職員が主として立てているが、立てたプログラムは皆で事前に共有している。 ●運動指導員が立案し、その後周知し皆の意見を反映している。	●プログラムの目的や子どもの様子に合わせて役割分担をしっかりと行い、臨機応変に対応できる様チームで更に連携を図っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	●様々な運動プログラムを提供している。 ●様々な運動、経験を通し楽しみながら次の学びへ繋がるよう日々工夫している。	●子どもの発達や課題に合わせ、苦手意識のあるものも自信へと繋がっていくよう今後も様々な知識やスキルを職員が身に付けていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	●個別活動のほか、おにごっこ遊びや、ルールのある遊びなどを取り入れ皆で関わりが持てるよう集団活動のプログラムも提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	●支援開始前に必ずミーティングを行い、前回活動の様子や配慮事項、プログラムの共有、確認など行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	●支援終了後にも必ず一人ひとりの子どもの様子を振り返り、次回の支援に繋がるよう記録を残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	●保護者にサインを頂く書面に記録を取ると共に、データとしても打ち込んで残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	●一人ひとりの子どもの記録に必ず目を通し、子どもの活動時の様子をモニタリングし定期的に適切な支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	●児童発達支援管理責任者と場合によっては指導員も参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	●ご家族を通して連携している。 ●ケースに応じて複数の関係機関と連携している。	●必要に応じて適宜連携を取って行く。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3	●ご家族を通して連携している。 ●必要に応じて関係機関と連携している。	●適宜必要に応じて行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3	●ご家族より提供された資料は職員間で共有し、支援に活かしているが、就学前の保育所や幼稚園などに情報提供を求めることはほとんどない。	●現在は支援内容等の情報共有はほとんどないが今後、必要に応じて検討していく。 ●情報共有を求められた際は提供できる体制は整っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA 調布		公表日		2024年9月30日	
		チェック項目	はい	いいえ／わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	5	●保護者を介して情報をいただいているような形。 ●子ども発達支援センター主催の公開療育や連絡会に参加し助言を受けている。 ●調布市の巡回サービスも積極的に受けている。	●今後も必要に応じ、連絡会などに積極的に参加し助言やアドバイスを受けて日々の支援に活かしていく。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	●通所している児童は保育園や幼稚園に通っている子どもがほとんどであり、通所前に障がいのない子どもと活動しているため、今のところそのような機会は設けていない。	●保育園等に通所していない子どもなど必要に応じて検討していく。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	●日々の運動プログラムの後に保護者にフィードバックしている。 ●必要な場合はフィードバック時以外にも、随時面談の時間を設けるようにしている。		
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	●保護者との面談や日々のフィードバックの時間で保護者支援や子どもに対する声掛け、対応方法を提案したりしている。	●将来的に家族支援プログラムを実施できるよう研修などで職員のスキルアップと知識の向上を図っていく。 ●限られた支援時間の中で時間の調整も検討が必要である。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	●契約時含め契約書や重要事項説明書の内容について担当が責任をもって丁寧に説明している。 ●保護者に疑問点や質問があればその場で回答、解消できるよう努めている。	●運営規程については、保護者が自由に閲覧できるファイルを用いて周知している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	●保護者の意向やニーズはもちろん、子どもの気持ちや意思も尊重し、それぞれの子どもにとって最適な支援計画を作成している。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	●児童発達支援の提供すべき支援のねらいに基づき、6か月以内に1回見直し、作成し保護者から同意を得ている。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	●活動後のサインをもらう際に、悩み等を聞き助言を行っている。 ●定期的では無いが必要に応じて面談を行っている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	●きょうだい児の交流はないが年に1回楽しく運動をするイベントを行っている。	●保護者同士の相談の機会を設けてほしい等のご相談があった際には検討し開催していきたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	●職員全員が子どもや保護者からの相談や申し入れには迅速に対応し、職員間で共有、話し合いのもと、適切に対応できている。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	●LINEを活用し、行事予定や出欠の連絡などを行っている。	●今後、ホームページ上でも情報の発信を行い、周知していく。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	●個人情報が記載された書類は鍵付きの棚に保管している。 ●事務所内は外から見えないようブラインドを開めるようにしている。	●PC等からの個人情報へのアクセスはパスワードを設定するなど今後検討していく。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	●保護者の障がい理解度に合わせて説明を行っている。 ●子どもや保護者の状態に応じて、文面だけや口頭だけにならないよう意思疎通・情報伝達等を実施している。		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	●地域住民ではないが、利用児童以外も年に1回運動プログラムに参加できる取り組みをしている。	●地域住民を招待する等の交流は現段階では検討は行っていない。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					2024年9月30日
		チェック項目	はい	いいえ／わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	4	●事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルは揃っており、保護者に周知できるようにしている。	●より様々な訓練を実施できるように努めている。 ●防犯マニュアルは実用可能なマニュアルを作成していきたい。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	●定期的に避難訓練を実施し、実際に災害が発生した際も迅速に対応できるよう緊張感をもって取り組んでいる。また、実施時は実施記録も作成している。	●BPCに関しては研修などを通じて理解を深めたい。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	●保護者記載のシートにより把握している。また必要に応じて聞き取りを行っている。 ●毎日のミーティングで共有するほか、個人ファイルにシールを貼って分かりやすくしている。		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	●現在食物の提供はしていないがアレルギーについても保護者記載のシートにて把握している。 ●アレルギーのある子どもについては個人ファイルにシールを貼るほか、毎日の記録シートにも反映している。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	●日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携を取り、必要な措置を講じている。		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	●子どもの安全確保のため、どの様な際にやむを得ず身体拘束を行うかについてなど保護者に十分説明し了解を得ている。		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	●口頭や書類、連絡ツールにて共有を図っている。 ●事例発生時にはその都度記録を残し、全職員で共有するとともに、再発防止の対策を話し合い実践している。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	●東京都の虐待防止研修に参加した職員が、事業所内で共有のため研修を行っている。 ●調布市内の虐待防止研修に参加した職員が、事業所内で共有のため研修を行っている。 ●虐待防止に関わるセルフチェックを全職員に対して定期的実施している。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2	●事業所内に身体拘束を行う方針がないが自傷他害の子どもがいた場合の対応策やどの様な時に身体拘束を行うかは契約時にはすべての保護者に説明し、対象者がいる場合は個別支援計画に記載する。		